



農林中央金庫



2025 年 6 月 5 日
農林中央金庫
Green Carbon 株式会社

農林中央金庫と Green Carbon 株式会社の業務提携について

～農畜産分野の GHG 排出削減と J-クレジット・JCM クレジット創出連携を目指して～

農林中央金庫（代表理事理事長 北林 太郎、以下「当金庫」）は、Green Carbon 株式会社（代表取締役 大北 潤、以下「Green Carbon」）と、農業・酪農・畜産分野を中心に自然由来カーボンの創出支援を通じた GHG（Greenhouse Gas、温室効果ガス）削減の推進と、自然由来の J-クレジット制度や二国間クレジット制度（JCM^{*1}）を活用したカーボンクレジットによる収益拡大に取り組むことを目的とした業務提携契約（以下、本提携）を締結したことをお知らせします。本提携による取り組みを通じて、当金庫と Green Carbon は、カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

1. 本提携締結の背景

当金庫は、「持てるすべてを『いのち』に向けて。～ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます～」をパーパス（私たちの存在意義）として定め、その実現に向けた重要課題（マテリアリティ）として、「脱炭素社会の実現」および「農林水産業の“稼ぐ力”の強化」等を掲げています。脱炭素社会の実現に向け ステークホルダーの皆様と連携しながら、農林水産業分野における GHG 削減の取り組みを進めています。

Green Carbon は、東南アジアを中心に自然由来のカーボンクレジット創出に取り組んでおり、森林保全、水田、マングローブ植林、牛のゲップ削減、バイオ炭プロジェクトなど幅広い分野でのプロジェクトを展開しています。中でも国内の水田プロジェクトは、2023 年度に日本初の方法論（^{*2}）で、日本最大級の規模（約 6,220t^{*3}）で水田の J-クレジットの認証を取得しており、2024 年度は約 40,000ha（約 90,000t）に拡大、2025 年度も約 10 万 ha（約 20 万 t）への拡大を予定しています。

本提携では、Green Carbon のカーボンクレジットディベロッパーとしてのノウハウや実績と、農林中金の農畜産分野のネットワークを掛け合わせ、農畜産業者に対して GHG 削減ソリューションの紹介と、自然由来のカーボンクレジット組成による収益化の提案を実施してまいります。

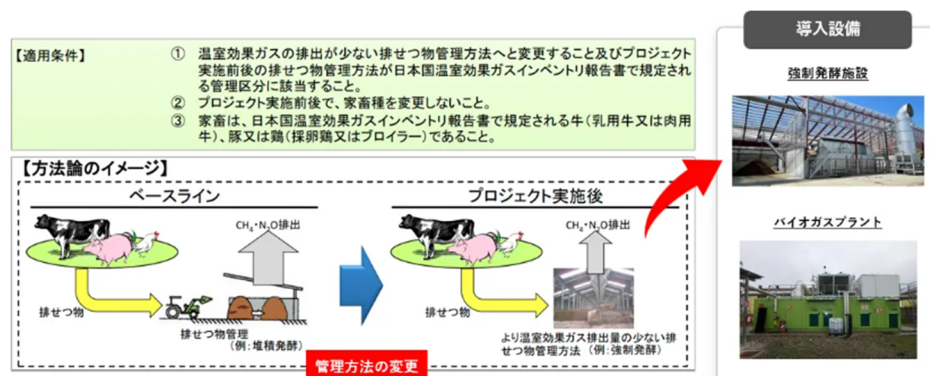
また将来的には、NDC（国の削減貢献目標）に活用できる JCM クレジットの活用も推進し、日本の農畜産業における脱炭素を促進してまいります。

2. 「家畜の排せつ物由来」J-クレジット創出の仕組み

本取組みで使用する J-クレジットの方法論は、「家畜排せつ物管理方法の変更（AG-002）」で、鶏・豚・牛の家畜の排せつ物の強制発酵設備を導入する事により発酵の速度を上昇させ、発酵の過程で発生するメタン（CH₄）や一酸化二窒素（N₂O）を削減し、削減分を J-クレジットとして認証させる仕組みです。

強制発酵設備の導入により、通常約半年を要する家畜排せつ物の発酵期間が大幅に削減され、排せつ物の処置にかかる工数を半減させることができます。一方で、強制発酵設備の導入は多額の設備導入コストが掛かるため、本方法論を活用する生産者はほとんどいないのが現状です。

そこで、Green Carbon は強制発酵設備の導入費用、J-クレジット登録・申請・認証費用などを内包したプロジェクト出資型スキームをまずは酪農分野で構築し、設備導入時の初期負担を軽減しながら、GHG 排出量の削減や J-クレジットの販売収益分配による副収入確保などを目指します。



○「家畜の排せつ物由来」J-クレジット創出の仕組み



○従来の堆肥発酵の



○強制発酵装置のプラント

3. 今後の展開

本提携を通じて今後は、国内外の農業由来のクレジット販売の拡大、バリューチェーン上の排出削減を行うために、関連業者との連携などを実施し、クレジットの取組みだけでなく、各事業者の Scope3 の半永久的な削減を目指していきます。

ご参考

*1 二国間クレジット制度（JCM：Joint Crediting Mechanism）

JCMとは日本が有する優れた脱炭素技術等の普及を通じて、パートナー国の温室効果ガスの排出削減に貢献し、その削減分を両国の削減目標の達成に活用する制度です。

*2、3 Green Carbon 社調べ

農林中央金庫について

概要	農業協同組合（JA）、漁業協同組合（JF）、森林組合（森組）等を会員とした協同組織の全国金融機関
住所	〒 100-8155 東京都千代田区大手町 1-2-1 Otemachi One タワー
代表者	代表理事理事長 北林 太郎
設立日	1923 年 12 月 20 日
パーパス	「持てるすべてを「いのち」に向けて。ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます」
URL	https://www.nochubank.or.jp/

Green Carbon 株式会社について

概要	カーボンのクレジット創出・販売事業、農業関連事業、環境関連事業、その他、関連する事業及び ESG コンサルティング事業
住所	〒 107-0052 東京都港区赤坂 5-2-33IsaI AKASAKA607
代表者	代表取締役 大北 潤
設立日	2019 年 12 月 12 日
ビジョン	生命の力で地球を救う
URL	https://green-carbon.co.jp/

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 経営企画部 広報コミュニケーション班
（藏方・丹羽） Tel：03-6362-7172

Green Carbon 株式会社

広報(井家) Tel：080-7307-8597